

婦人関係資料シリーズ
調査資料 No.9

労働者の主婦の意見調査

生活や組織活動について

労働省婦人少年局

は し が き

家庭にとまづ家事を担当する婦人の数は約950万といわれていますが、これらの婦人の生活や社会に対する考え方は職場に働く婦人にくらべてまだかなり後れているように思われます。

家庭婦人の低さは、職場に働く婦人の地位にも深い関係をもっていますが、婦人少年局では、家庭婦人の地位を決定づける家庭生活の合理化と家族関係の民主化をはかり、家庭婦人の地位、ひいては婦人全体の地位を高めるために、労働者の家族問題についての特別活動を行いました。

この調査はその折の一行事として実施したのですが、労働者の主婦がその生活に対して、また夫の職場や組合活動に対して、どのような考えをもっているかをとりまとめてお目にかけることになりました。

1952年8月

労働省婦人少年局

労働者の主婦の意見調査

—生活や組織活動について—

目 次

は し が き

I 調査の概要	8
1. 調査の目的	8
2. 調査期日	8
3. 調査方法及び調査対象	8
II 調査の結果	15
1. 生活について	16
(1) あなたの家の生活はどの程度でしょうか	16
(2) あなたは生活が苦しいときにはどうしたら一番よいと思いますか	16
(3) あなたは一日中でどのような時間が一番欲しいと思いますか	16
2. 家計の管理について	18
(4) 御主人はあなたに給料をどのようにして渡しますか	18
(5) あなたの家で一カ月の給料の使いみちを、あらかじめ決めて使っていますか	19
(6) あなたの家では家計簿をどのようにしていますか	19
3. 組織活動について	19
(7) あなたは御主人の仕事を知っていますか	19
(8) 御主人の職場には労働組合がありますか	19
(9) あなたは労働組合をどう思いますか	19
(10) 御主人と同じ職場の人達の家族で団体をつくっていますか	19
(11) あなたは上の団体についてどう思いますか	19
III あとがき	24

統計表目次

第1表	調査対象者の年齢	3
第2表	調査対象者の結婚年数	3
第3表	調査対象者の学歴	4
第4表	家族数	4
第5表	家族構成	4
第6表	労働者家族と農村家族の世帯内世代数の比較	4
第7表	夫の職業(産業別)	5
第8表	夫の仕事の内容	5
第9表	夫の勤先の規模	5
第10表	主婦の職業	5
第11表	労働者の主婦の生活時間	7
第12表	希望する生活時間	7
第13表	妻の職業別にみた生活時間の希望	7
第14表	生活の程度別、生活時間の希望	8

統計図表

第1図	年齢別にみた家計簿の記入方法	10
第2図	年齢別、組合の有無別、生活状態別にみた労働組合に対する意見	13
第3図	家族団体や主婦会に対する意見	14

〔附 録〕

1. 質問別統計表	16
2. 調査表	20

労働者の主婦の意見調査

—生活や組織活動について—

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は昭和20年11月20日から21日間にわたって、全国的に実施された“労働者家族の生活を高める特別活動”の一事業として行われたもので、労働者家庭の主婦がその生活や夫の職場に対して、また組合や主婦会などに対して、どのような意見をもっているかを把握し、今後の労働者家族の生活向上を図る上の資料を得ることを目的としたものである。

2. 調査期日

昭和20年11月20日～12月10日。

3. 調査方法及び調査対象

全国の工場、鉱山及びその他の事業場に協賛労働者の主婦で“労働者家族の生活を高めるための座談会”に出席したものを対象とした。この座談会は、労働者家族の生活を高める特別活動に際して全国的に行われたが、そのうちから各県2カ所内至3カ所を選び、1カ所50名を限度として調査票を配布し、座談会の開始前に記入を求め、回収した。

その結果として全国99カ所の座談会においてこの調査は実施され、3,806枚の調査票が配布されたが、未記入及び5問以上記入のなかつたものの回答を無効として整理した結果、配布総数の約99%にあたる3,734票が有効票として集計された。調査の結果を分析するに先立ち、これら調査対象者の年齢、学歴、家族数、職業などについてとりまとめ、質問にあらわれた各種意見との関連をみるための参考としたい。

まず年齢別では、第1表の通り、3,734名中30代のものが1,556名で全体の42%を占めて、最も多

第1表 調査対象者の年齢

年齢別	実数	割合(%)
19才以下	9	0.2
20才～24才	315	8.4
25才～29才	767	20.5
30才～34才	796	21.3
35才～39才	760	20.4
40才～44才	551	14.8
45才～49才	277	7.4
50才～54才	107	2.9
55才～59才	19	0.5
60才以上	15	0.4
記入なし	118	3.2
総数	3,734	100%

く、次いで20代の20%、40代の22%となつている。とりわけ25才

第2表 調査対象者の結婚年数

結婚年数	実数	割合(%)
1～5年	894	23.9
6～10年	815	21.8
11～15年	695	18.6
16～20年	541	14.5
21～25年	383	10.3
26～30年	204	5.5
31年以上	73	2.0
記入なし	129	3.4
総数	3,734	100%

から39才までの層は他をひきはなして高く、今回の座談会には、この年齢層の出席者が最も多かつたことがわかる。

結婚年数は5年以下のものが、一桁多く、24%結婚してから5年～10年の者は22%で、これらを合計すると約半数に近い40%となるが、これは前記の年齢構成からも、当然のことといえよう。

学歴別では、高小卒が48%で最も多し、ついで女学校卒の26%、小学校卒24%が前後している。専卒は28%、不就学は1%である。これを昭和28年8

第3表 調査対象者の学歴

学歴別	実数	割合(%)	よみかき能力調査(%)
不就学	36	1.0	4
小 卒	912	24.4	33
高小卒	1,591	42.6	37
女 卒	972	26.1	25
専 卒	86	2.3	1
記入なし	137	3.6	0
総 数	3,734	100%	100%

(註) イ、1948年8月「よみかき能力調査委員会」実施の全国女子の学歴分布。

月によみかき能力調査委員会が実施した「よみかき能力調査」の結果によつて全国女子の学歴分布とくらべてみると、本調査の対象者の学歴は全国的女子よりやや高くなっている。

家族数は、4人及び、5人家族が最も多く、ともに21%を占め、6人家族の17%、8人家族16%の順となつている。第4表でみる通り、11人以上の大家族は、実数で16世帯0.4%

となつている。1世帯当りの平均人員は5.0人であるが、1950年度の国勢調査による全国平均は4.97人である。これらの家

庭がどのような家族員によつて構成されているかをみると、夫婦と子供だけの世帯は69.8%、夫婦のみ

第4表 家族数

家族数	実数	割合(%)
2 人	211	5.7
3 人	597	16.0
4 人	774	20.7
5 人	770	20.6
6 人	622	16.7
7 人	394	10.5
8 人	209	5.6
9 人	93	2.5
10 人	42	1.1
11人以上	16	0.4
記入なし	6	0.2
総 数	3,734	100%

の世帯5.5%、夫か妻の親がいる世帯は17.6%で、大部分が夫婦及びそ

の子供からなる世帯である。これは農村の家族にくらべるとはるかに単純である。婦人少年局が昭和25年8月に全国から5カ村を選出して、

490戸の農家について調査して得た、農家の世帯内世代数と本調査の勞

働者世帯に含まれている世代数とをくらべてみると、第6表の通り、勞

働者世帯では、世帯内に2世代(夫婦と子供又は夫婦と親など)を含む

世帯は71%であるが、農家では48%で、反対に3世代以上の世帯が52%

に及んでいる。本調査の労働者世帯では夫婦の親以外を含む世帯はすべ

て「その他」に集計したが、これを加えたとしても労働者世帯で8世代

以上を含む世帯は28%で、農家と労働者世帯の家族構成にかたりの相違

第5表 家族構成

家族構成	実数	割合(%)
夫婦のみ	205	5.5
夫婦と子供	2,606	69.8
夫婦と子供と夫の父母	438	11.7
夫婦と子供と妻の父母	147	3.9
夫婦と子供と夫婦の父母	23	0.6
夫婦と夫の父母	29	0.8
夫婦と妻の父母	15	0.4
夫婦と夫婦の父母	9	0.2
その他(イ)	256	6.9
記入なし	6	0.2
総 数	3,734	100%

(註) イ、きょうだい、祖父母などの含まれている世帯。

第6表 労働者世帯と農村家族の世帯内世代数の比較

調査別	労働者世帯	農村家族(イ)
1 世代	5.5%	5%
2 世代	71.2	43
3 世代	16.2	50
4 世代	0	2
その他	6.9(イ)	0
記入なし	0.2	0
計	100%	100%

(註) イ、労働者婦人少年局「農村婦人生活実態調査」昭和25年8月による。

ロ、きょうだい、祖父母などの含まれている世帯。

がみとめられる。夫の勤務先の産業

をわけてみると、すでに述べた通り、この調査は全国の工場、鑛山な

どに働く現業労働者の主婦に対して

行われたものであるが、職業の1,228

が最も多く、38%を占め、化学工業、

機械器具工業、紡織工業がこれに次

いでいる。これに金属工業を加える

と、50%余になり、これら5産業で

大半を構成している。

夫の仕事の内容は、現場員が68

%で最も多く、事務系統の者は19

%、技師8%であった。

夫の勤務先の規模をみると第9表の通り1,000人以上の規模が一番多く、41%を占め100人～500人、500人～1,000人がそれぞれ

17%、14%、100人以下の

規模は12%で、今回の調査

の行われた事業場は中規模

以上のところが大部分であ

り、特に大規模の比率がた

かい。

主婦の仕事についてしら

べてみると“家事のみ”を

する者が2,814名で75%強

となつており、“家事と内

職”及び“勤めている者”

を合計しても18%にすぎな

い。このことは上記の夫の

勤先が中規模以上、とりわ

け大規模に多かつたことに

よるものと思われる。勤めている者は4.0%であるが、これらは教員、事務員、看護婦、女工員、兼役

婦などである。

第7表 夫の職業(産業別)

夫の職業	実数	割合(%)
鉱 業	1,228	32.9
運輸通信業	183	4.9
土木建築業	30	0.8
ガス・電気・水道業	53	1.4
機械器具工業	564	15.1
紡織工業	470	12.6
化学工業	656	17.5
金属工業	309	8.3
食料品工業	63	1.7
その他の工業	174	4.7
記入なし	4	0.1
総 数	3,734	100%

第8表 夫の仕事の内容

夫の仕事	実数	割合(%)
現場員	2,520	67.5
技 師	262	7.6
事務系統	696	18.6
記入なし	236	6.3
総 数	3,734	100%

第9表 夫の勤務先の規模

夫の勤務先の規模	実数	割合(%)
10人以下	82	2.2
50人以下	225	6.0
100人以下	139	3.7
500人以下	626	16.8
1,000人以下	525	14.1
1,000人以上	1,542	41.3
わからない	457	12.3
記入なし	138	3.7
総 数	3,734	100%

第10表 主婦の職業

職業別	実数	割合(%)
家事のみ	2,814	75.4
家事と内職	548	14.7
勤めている	150	4.0
記入なし	222	5.9
総 数	3,734	100%

Ⅱ 調査の結果

1. 生活について

(1) あなたの家の生活はどの程度でしょうか。

とても苦しい	24.5 %
少し苦しい	41.5
普通	30.8
まあ楽な方	2.1
楽	0.2
記入なし	0.9
	100.0 %

生活については“生活の程度”“苦しいときの方法”及び生活時間のうち一番決まる時間の三問を設けてたずねてみた。

調査対象者の勤務先の産業、規模などについてはすでに述べた通りであるが、生活程度についての回答

は「とても苦しい」という者が24.6%、「少し苦しい」41.5%で、これらを合計すると66%になつてゐる。反対に「まあ楽な方」を含めて「楽」と答えたものは僅か2%余に過ぎず、「普通」と答えたものが31%であつた。これを年齢別にみると「とても苦しい」と「少し苦しい」と答えたものの合計は40才代の73%が最も高く、30才代の60%、60才代の66%、50才代の64%、20才代の58%という順になつてゐる。また家族数別に「苦しい」（「とても苦しい」と「少し苦しい」）と答えたものを比較すると7人～9人の層が79%で一番多く、次いで10人以上の78%、4人～6人の67%となつてゐるが、「とても苦しい」だけをとつてみると今度は10人以上の層が、48%で最も高くなつてゐる。

(2) あなたは生活が苦しいときにはどうしたら一番よいと思いますか。

妻がつとめる	17.2 %
内職をする	58.6
持物を売る	1.3
借金をする	7.7
家族を働かせる	5.5
間借しをする	0.4
身内の者に送金を頼む	1.8
生活保護を受ける	0.4
その他	4.1
記入なし	3.0
	100.0 %

「苦しいときにはどうするか」の問に対して圧倒的に多い答は「内職をする」の58.6%、次いで「妻がつとめる」の17.2%となり、積極的に働いて切掛けようと答えたもの、即ち「妻がつとめる」「内職をする」「家族を働かせる」の合計が82%となつてゐる。「借金をする」「身内の者に送金を頼む」「持物を売る」など消極的な切掛けは11%である。これを年齢別に比較すると、大抵り年齢が若い程積極的な切掛けという考えが強い。「妻がつとめる」「内職をする」「家族を働かせる」と答えた者を合計すると、40才以下では80%、20才代82%、30才代82%、40才代の81%となるが、「家族を働かせる」という答えについてみると、20才代2.6%、30才代3.2%、40才代10.0%、50才代28.0%、60才以上20.0%となり、60才以上の者を除いては年代の多い程「家族を働かせる」考えが強くなつてゐる。「妻がつとめる」という答えは20才代が20.5%で最も高い。

家族数別では家族人員の多い程、「妻がつとめる」「内職をする」という者の率は減少し、「家族を働かせる」という者の率が高くなつてゐる。

(3) あなたは一日中でどのような時間が一番欲しいと思いますか。

家事に費す時間	21.7 %
内職する時間	16.6
新聞や本を読む時間	19.2

眠る時間	18 %
芝居や映画などを見る時間	2.2
子供の相手をする時間	15.4
ためになる會合に出る時間	17.5
その他	2.1
記入なし	2.1
	100.0 %

婦人少年局が昭和20年11月、東京地帯の大工場に勤務する既婚労働者世帯を対象として調査した

第11表 労働者の主婦の生活時間

区 分	生 活 時 間	百分比
内 職	31分	2.1 %
睡眠	445	31.0
食 事	79	5.5
身の廻り	61	4.2
医 療	16	0.4
小 計	592	41.1
家事作業	554	38.4
育 児	96	6.7
小 計	650	45.1
学 校	1	0.1
運 動	0	-
教養・娯楽	75	5.3
交 際	27	1.9
休 息	27	1.9
難 澁	30	2.1
その他	7	0.5
小 計	157	11.7
合 計	1,440	100.0 %

(註) 労働省婦人少年局「工場労働者家族生活実態調査」1951年11月による。

り、これと反対に社会的文化的時間は、20才代のものが45%、30代41%、40代36%となつてゐる。また「内職する時間」を欲しいというものは、20才代では14%であるのに、30代になると17%、40代20%と多くなつてゐる。

生活時間の希望は、妻の仕事の有無によつて大きな差が現われている。すなわち、家事のみをする主婦が最も多く希望するのには社会的文化的時間で48%が希望してゐるが、家事と内職をしてゐる者では内職をする時間の希望が多く、一方動機にでてい

「工場労働者家族の生活実態調査」の結果によつて労働者の主婦の生活時間をみると第11表の通り家事と育児に費す時間は10時間50分で1日24時間に対し45%を占め、社会的文化的生活に費す時間は2時間47分11.7%となつてゐるが、本調査において1日のうち最も欲している生活時間をきいてみると、「家事に費す時間」が一番多く22%、次は「新聞や本を読む時間」19%となつてゐる。今ここに実態調査の項目に合せて希望する生活時間を次の4分類に整理してみると第12表の通りとなる。

この四区分でみると、社会的文化的時間の欲求が最も高く45%を占め、次いで家事時間の37%、内職時間の17%、生理的時間は2%となつてゐる。これを年齢別にみると、育児を含む家事的

希望する生活時間	希望する生活時間
家事的な生活時間	37.1 %
家事に費す時間 子供の相手をする時間	22.0 %
内 職 時 間 内職する時間	16.6 %
生理的時間	1.8 %
眠る時間	1.8 %
社会的文化的時間	44.5 %
新聞や本を読む時間 芝居や映画などを見る時間 ためになる會合に出る時間 その他	19.2 %

第13表 妻の職業別にみた生活時間の希望

区 別	総 数		家事的 生活 時間	内職 時間	生理的 時間	社会的 文化 時間	記入 なし
	実数	%					
家事のみ	2,814	100	38.0	12.9	1.8	46.3	3.9
家事と内職	548	100	24.3	38.2	1.0	34.5	1.2
働めてゐる	150	100	57.4	6.0	2.0	34.6	1.4

る者の場合には家事の時間を希望する者が最も多い。

学歴別では、「不就学」に「家事的生活時間」を望むものが61%と非常に多いのであるが、「小卒」の45%、「高小卒」の39%となり、さらに「女学校卒」となると27%に減少し、「専卒」になると僅か23%になる。逆に「社会的文化的時間」では「不就学」で僅か11%と極端に少く「小卒」では28%、「高小卒」88%とふえて「女学校卒」になると58%と急激に増加し「専卒」では67%に及んでいる。

「家事の時間」を望むものを家族数別にみると「2人～8人」の層では29%なのに、「4人～6人」となると87%、さらに「7人～9人」では45%、10人以上47%となり、家族数が多くなるにしたがい家事時間の希望が多くなっている。「社会的文化的時間」の希望はこれとは逆の傾向が見られる。「2人～8人」の場合には49%、「4人～6人」の41%、「7人～9人」32%、「10人以上」では29%となっている。

第14表 生活の程度別生活時間の希望

生活程度の相違も生活時間の希望をかなり変えている。すなわち第14表のとおり

生活が苦しいほど「内職の時間」や「家事や育児の時間」を欲する者の率は高くなっているが、新聞や本をよんだり、芝居や映画をみたり、会合に出席するなどの「社会的文化的時間」を希望する者は逆に生活の楽な者ほど多くなっている。

区 別	総 数		家事的 生活時 間	内職 時間	生理的 時間	社会的 文化的 時間	記入 なし
	実数	%					
とても苦しい	917	100	41.4	22.0	2.8	30.4	3.4
少し苦しい	1,549	100	37.0	17.0	1.3	41.3	2.3
普通	1,150	100	34.9	11.9	1.7	47.9	3.6
まあ楽な方	78	100	25.6	10.3	2.6	53.9	3.8
楽	7	-	-	-	-	-	-

2. 家計の管理について

(4) 御主人はあなたに給料をどのようにして渡しますか。

そのまま全部渡す	79.1 %
主人の小遣だけとつて渡す	15.3
主人が持っていて少しずつ渡す	3.6
そ の 他	1.8
記 入 な し	0.2

100.0 %

戦後の労働者の家計の管理を擔当する主婦は異例ともいふべきインフレーションの波を浴びて、真に夫婦の協力なくしては乗りこえることのできない過程を歩いたのであるが、前章にも述べたように「苦しい」と答えた者が60%あることは、これらの家庭が今なお家計の管理に相当困難をしのんでいることが想像される。この「御主人はあなたに給料をどのようにして渡しますか」という質問に対し、「そのまま全部渡す」ものが断然多く79.1%、「主人の小遣だけとつて渡す」と答えたものは15.3%で94%が夫の収入をもつて家計をまかなうことを任せられていることになる。「主人がもつていて少しずつ渡す」と答えたものは138名で僅か3.6%にすぎないが、家計の管理を任せられない妻が都市にも存することを示している。これを前述した農村婦人生活実態調査の結果とくらべてみると、本調査では04%の主婦が家計を管理しているのに対し、農村婦人の場合は僅かに8%のものがその管理を任せられているに

すぎない。

年齢別では若い層ほど「そのまま全部渡されている」ものが多く、逆に「主人が持っていて少しずつ渡される」ものは少くなっている。

また、妻の仕事の有無別にみると、「家事のみ」をしている妻の場合には「そのまま全部渡されている」ものが80%で最も多いが、「家事と内職」をしている場合には77%、勤めている者では72%と次第に減っている。

(5) あなたの家では1ヶ月の給料の使いみちをあらかじめ決めて使っていますか。

き め て い る	71.2 %
き め て お か な い	27.8
記 入 な し	1.0
	100.0 %

一家の経済は予算生活からという言葉があるが計画性のある使い方と無計画な使い方では同一の収入で、同一の家族構成であつても、その生活に自ら相違をきたすことは明白な事実であつて、ここに「きめている」と答えたものが71%を占めていることは、程度の差はあれ本調査における「高小卒」以下のものが68%に及ぶことを思い合わせるならば比較的高い比率といえるであろう。

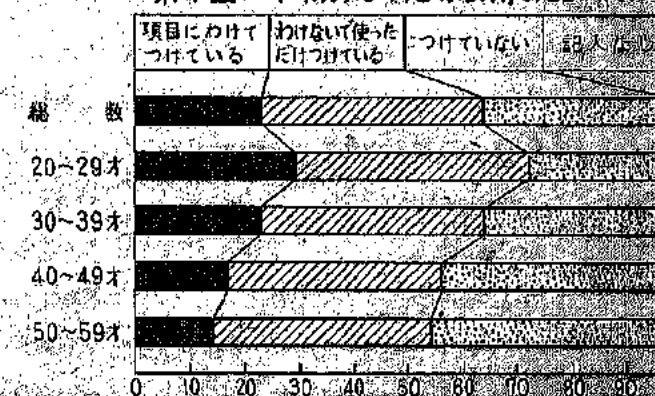
年齢階層別でみると、予算を「きめている」ものは20代77%、30代72%、40代68%、50代64%と次第に減つて、若い層ほど計画的であるといえよう。

(6) あなたの家では家計簿をどのようにしていますか。

項目にわけてつけている	22.9 %
わけないで使っただけつけている	41.2
つけていない	34.6
記 入 な し	1.4
	100.0 %

前の項では、給料の使いみちを「きめて使っている」と答えたものが71%あつたが、この質問によつて家計簿をどこに角一応つけていると答えた者をみると64%となり、予算をきめていると答えたもののなかにも家計簿をつけていないものがあることがわかる。予算生活と家計簿とは表裏一体をなすもので、正確な予算は家計簿の実績から勘案しながらはできないものである。このことから家計簿はやはり項目別に整理しなければならぬのであるが、「項目にわけて」と答えたものは僅か23%にすぎない。それにしてはとて角家計簿を

第1図 年齢別にみた家計簿の記入方法



つけているものが44%あることは、家庭生活における向上である。

「項目をわけてつけている」ものや「わけないで使っただけつけている」ものも年令の若い層は多いが、家計簿を全然「つけていない」ものは反対に年寄りの層は多くなっているのは前項と同じ傾向である。

3. 組織活動について

この項は、夫の仕事を通じての主婦の社会活動に対する理解の程度や、職場や職場の組合への関心を知るうとしたもので、「夫の仕事を知っているか」「夫の職場に労働組合があるか」「夫と同じ職場で主婦の団体をつくっているか」「それらに対してどう思うか」などの質問によつてみることにした。

(7) あなたは御主人の仕事を知っていますか。

みて知っている	83.7 %
話をきいて知っている	61.8
知らない	4.0
記入なし	0.5
	100.0 %

夫の仕事に対する理解の度の一端になるが、「知っている」と答えた者は全体の96%で、ほとんどが知っているが、このうち「みて知っている」ものは84%で、あとは「話をきいて知っている」もので、92%である。この問題は年令別にもたいした差はみとめられないが、「話をきいて知っている」ものが20代にやや多く、65%で他の年層より約5%高い。

(8) 御主人の職場には労働組合がありますか。

あ	る	92.4 %			
な	い	4.2			
わ	か	ら	な	い	2.8
記	入	な	し	0.6	
					100.0 %

労働者の団結権が保証されてから時間も経過しているので、大、中企業のほとんどが組合を結成しているが、本調査においても夫の勤先の事業場の規模別でみたところ、調査の対象が大、中企業に集中している関係上、労働組合があると答えたものが大半である。しかし、少数ではあるが、労働者の妻で夫の職場に労働組合があるかどうか「わからない」もの2.8%、それについて答えなかつたものが0.6%あつた。

(9) あなたは労働組合をどう思いますか。

あつた方がよい	77.8 %
ない方がよい	1.5
わからない	18.6
記入なし	2.1 %
	100.0 %

△労働組合はあつた方がよいという者の理由。

賃金等の要求を団結の力で得られる	16.5 %
働く者の生活を守ってくれるので安心して働ける	10.5
労働者の労働条件をよくし地位向上が図れる	5.1
労働者の相談相手になる	3.9
労働者の権利を守ることができる	1.6
お互に助けあえる	1.0
何かと便宜が得られる	1.3
資本家の云うなりにかたよらないで済む	0.8
労資協調できる	0.8
お互に話しあえる	0.2
その他	10.8
記入なし	46.9
	100.0 %

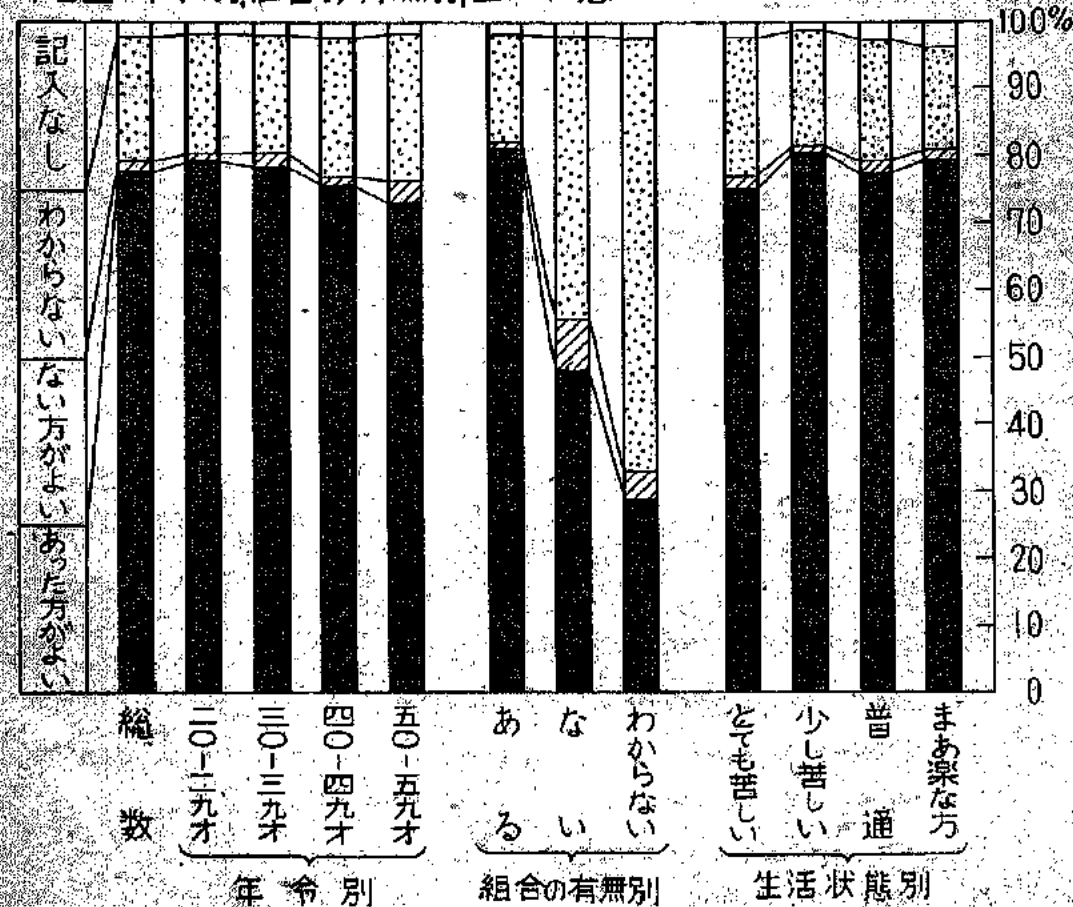
△労働組合はない方がよいという者の理由。

現在のように労資協調できないなら何にもならない	21.8 %
組合費の納め損である	7.3
組織が弱くて役に立たない	7.3
有名無実だから	5.5
組合はきらいだから	1.8
組合運動をすると職をやめさせられる	1.8
その他	14.5
記入なし	40.0
	100.0 %

労働組合については「あつた方がよい」と答えた者が78%で、組合の必要性を感じている者が多い。「ない方がよい」と答えた者は3,784名中僅か65名で1.5%にすぎず、「わからない」と「記入なし」を合せると21%になつてはいるが、特に「わからない」と答えたものは10%である。

「あつた方がよい」と答えたものの理由をみると、半数に近い47%のものが何の理由も述べず、組合はあつた方がよいと答えながら、なぜあつた方がよいのか充分認識のないものがあつたようであるが10.5%が「賃金等の要求を団結の力で得られる」と答え、10.5%が「働く者の生活を守ってくれるので安心して働ける」と答えており、以下8番目までの答えを合せると41.3%がほぼ正しい答えを出している。

第2図 年令別組合の有無別、生活状態別にみた労働組合に対する意見



年令別では、僅かではあるが、若い層ほど労働組合は「あつた方がよい」という者の率は高い。
 夫の職場に「労働組合がある」と答えた者では81%が組合の必要を訴えていることに対し、「組合がない」者ではその支持率は僅かに48%で、残りの42%が「わからない」と答えている。
 生活の程度別に労働組合の必要性をどう考えているかをしらべてみると、生活が「少し苦しい」「まあ楽」「普通」と答えた者の順に組合の支持率は漸減し、それぞれ80.1%、79.5%、77.1%であるが、「とても苦しい」という者ではこの率は最も低く74.8%である。数は少ないが、生活が楽と答えた者は「名中全部が「労働組合はあつた方がよい」と答えている。
 一般にいつて、主婦たちが労働組合を支持していることははっきりわかるが、何のために組合が必要かという認識が足りないようである。ただ「ない方がよい」と答えた者のうちにも「現在のように労資協調できないなら何にもならない」、「組織が弱くて役に立たない」、「有名無実だから」と組合の現況に反対して、自分の支持できる組合さえあれば支持しようというはつきりした考えを出したものが僅かながらあつたことは注目してよいであろう。

(10) 御主人と同じ職場の家族の入連で家族組合をつくっていますか。

つくっている	30.7 %
つくっていない	60.5 %
わからない	6.2
記入なし	2.6
	100.0 %

家族組合や主婦会については、「つくっている」者31%に対し61%が「つくっていない」と答え、多くが未組織であることを示している。業種別にみても「つくっている」と答えた者が「つくっていない」と答えた者より多い業種は一つもない。僅かに平均を上回るものに、飲食39%、化学工業34%、運輸通信業31%などがある程度である。

(11) あなたは家族組合や主婦会をどう思いますか。

あつた方がよい	71.5 %
ない方がよい	11.4
わからない	12.6
記入なし	4.5
	100.0 %

△家族組合や主婦会があつた方がよいという者の理由。

お互に助け合えるから	50.6 %
みんなと仲よくなれるから	21.7
主人の労働組合に協力できるから	11.7
会社と話合うのに都合がよい	10.3
その他	0.9
記入なし	4.8
	100.0 %

△家族組合や主婦会はない方がよいという者の理由。

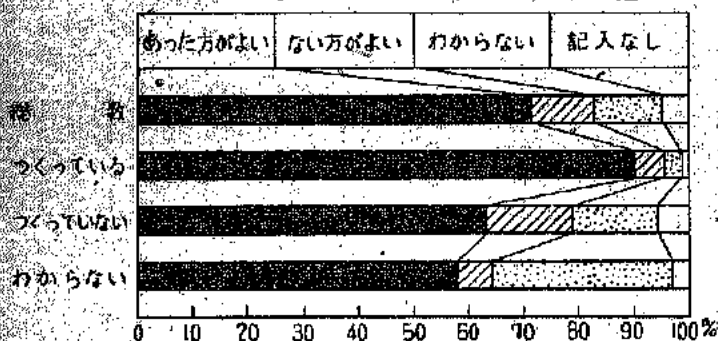
いろいろわずらわしいから	39.3 %
ひまがないから	29.3
何の役にも立たないから	13.6
何かと利用されやすいから	7.0
その他	2.4
記入なし	8.4
	100.0 %

前の質問で、家族組合や主婦会をつくっていないと答えた者が多かった主婦層も、この質問では72%の者が「あつた方がよい」とその必要性を訴えている。「ない方がよい」という者は全体の11%程度で、

「わからない」と「記入なし」が残りの17%を占めている。

これらの団体を「つくっている」者のうち90%までが「あつた方がよい」と答えているのは、その組織の有効であることがみとめられているためであろう。また「つくっていない」「わからない」と答

第3図 家族団体や主婦会に対する意見



えた者までが、64%、58%と半数以上「あつた方がよい」と答え、団体の設立を希望していることは労働者家族の生活の向上の方法に一つの示唆をあたえているものといえるであろう。その理由をみても、「相互に助け合えるから」という家族連の相互扶助親睦の機関としての発展を期待しているようである。

ある。

「ない方がよい」という者は11.4%であるが、その理由も「わずらわしいから」89.8%、「ひまがない」29.8%など、どちらかといえば消極的な考え方が強いようである。

Ⅲ あとがき

以上が簡略ながら「労働者家族の座談会」に出席した主婦連の回答をまとめたものである。これによつて直ちに労働者家族一般を論じることとはできないが、年齢層、職業別、学歴の程度などによつてどのような相違があるかをうかがい知ることができよう。

なお、この内容については巻末の附表を参照の上ごらんいただきたい。

〔附 録〕

Ⅰ 質問別統計表

1. 生活について

第1表 あなたの家の生活はどの程度でしょうか

項 目	数	総 数		とても苦しい	少し苦しい	普通	まあよい	よい	記入なし
		実数	%						
総 数		3,734	100	24.5	41.5	30.8	2.1	0.2	0.9
年 齢	19 才 以 下	9	100	-	55.6	44.4	-	-	-
	20 ~ 29	1,082	100	19.7	40.2	38.7	2.4	0.4	0.6
	30 ~ 39	1,556	100	26.5	42.3	27.9	2.5	0.1	0.7
	40 ~ 49	828	100	30.2	42.5	25.6	1.1	0.1	0.5
	50 ~ 59	126	100	21.4	42.9	33.3	1.6	-	0.8
	60 才 以 上	15	100	20.0	46.7	33.3	-	-	-
	記 入 な し	118	100	28.8	32.2	28.0	1.7	0.8	8.5
家 族 数	2 ~ 3 人	808	100	14.7	37.1	42.8	4.7	0.3	0.4
	4 ~ 6	2,166	100	24.0	43.1	30.2	1.5	-	1.2
	7 ~ 9	696	100	35.8	43.1	19.4	0.8	0.3	0.6
	10 人 以 上	58	100	48.3	24.2	22.4	1.7	1.7	0.7
	記 入 な し	6	100	33.3	33.3	16.7	16.7	-	-

第2表 あなたは生活が苦しい時はどうしたら一番よいと思いますか

項 目	数	総 数		表れが つと	内 容	持 つ 物	金 を す	家 か 族 を 働	同 子 貸 し	身 に 内 容 の 者	生 活 を 受 け る	そ の 他	記 入 な し
		実数	%										
総 数		3,734	100	17.2	58.6	1.3	7.7	5.5	0.4	1.8	0.4	4.1	0.6
年 齢	19 才 以 下	9	100	11.1	77.8	-	-	-	-	-	-	11.1	-
	20 ~ 29	1,082	100	20.5	58.7	1.0	7.6	2.6	0.3	2.0	0.5	4.5	2.3
	30 ~ 39	1,556	100	21.7	61.7	1.3	7.6	3.2	0.6	1.9	0.4	5.0	2.6
	40 ~ 49	828	100	33.8	56.7	1.2	7.7	10.9	0.1	1.1	0.4	4.7	0.4
	50 ~ 59	126	100	16.2	38.9	4.8	6.3	23.0	1.6	2.4	0.8	6.0	3.2
	60 才 以 上	15	100	0.0	3.3	46.7	6.7	-	-	-	-	-	13.3
	記 入 な し	118	100	7.6	54.3	-	12.7	4.2	-	1.7	-	3.4	1.0
家 族 数	2 ~ 3 人	808	100	21.5	60.3	0.5	5.7	2.7	0.2	1.9	0.5	3.5	3.1
	4 ~ 6	2,166	100	16.7	59.9	1.4	7.9	4.3	0.8	1.7	0.4	4.4	2.6
	7 ~ 9	696	100	33.9	55.4	1.4	9.3	9.2	0.9	2.0	0.4	3.5	3.9
	10 人 以 上	58	100	33.8	32.8	5.2	10.3	24.1	-	1.7	-	5.2	6.9
	記 入 な し	6	100	-	66.6	-	16.7	-	-	-	-	16.7	-
生 活 状 況	とても苦しい	917	100	16.6	58.2	1.4	7.8	7.5	0.5	1.4	0.5	0.7	2.4
	少し苦しい	1,549	100	15.4	61.9	1.1	8.0	4.7	0.5	2.0	0.8	4.1	3.1
	普通	1,160	100	28.9	59.4	1.2	3.8	5.1	0.8	1.5	0.2	4.7	4.7
	まあよい	78	100	10.5	52.5	-	3.8	2.6	-	5.1	1.3	2.0	2.0
	よい	7	100	42.9	57.1	-	-	-	-	-	-	-	-
	記 入 な し	84	100	18.2	54.6	-	8.0	6.1	-	3.0	-	-	1.6

第 8 表 あなたは一日中でどのような時間が一番忙しいと思いますか

項 目	総 数		家事に費す時間	内職する時間	新聞や本を読む時間	眠る時間	芝居を見る時間など	子供の相手をする時間	たぬきやうさぎを飼育する時間	その他	記入なし
	実 数	%									
総 数	3,734	100	21.7	16.6	19.2	1.8	2.2	15.4	17.5	2.1	3.5
年 齢											
19 才以下	9	100	22.2	33.4	-	-	-	11.1	22.2	-	11.1
20 ~ 29	1,082	100	23.7	13.5	25.4	1.3	2.2	12.8	15.2	2.1	2.8
30 ~ 39	1,556	100	20.4	17.3	18.0	1.6	2.2	17.0	18.8	2.1	2.6
40 ~ 49	828	100	21.5	19.5	14.5	2.7	2.3	14.7	17.7	1.8	5.3
50 ~ 59	126	100	23.8	15.0	16.7	4.0	1.6	11.9	19.0	4.0	4.0
60 才以上	15	100	6.7	26.6	12.3	6.7	-	-	40.0	-	6.7
記入なし	118	100	22.1	14.4	15.2	0.8	1.7	21.2	13.6	4.2	6.8
妻の職業別											
家事のみ	2,814	100	22.9	12.9	20.2	1.8	2.3	15.1	18.4	2.5	3.9
家事と内職	548	100	8.6	38.2	16.8	1.8	1.6	15.7	15.5	0.7	11.1
勤めている	150	100	41.4	6.0	15.3	2.0	1.3	16.0	12.7	2.0	3.3
記入なし	222	100	25.2	17.1	14.9	1.8	3.6	18.5	13.5	1.4	4.0
性 別											
な し	36	100	52.8	19.5	5.5	2.8	2.8	8.3	2.8	-	5.5
小 卒	912	100	28.0	21.6	10.1	2.3	2.4	15.9	12.8	2.4	3.5
高 小 卒	1,591	100	22.8	18.1	17.4	1.8	2.1	15.8	16.9	1.6	3.6
女 卒	972	100	13.1	11.4	30.3	1.3	1.7	14.3	22.7	3.1	2.1
専 卒	86	100	9.3	5.8	37.2	1.2	2.3	14.0	27.9	-	2.3
記入なし	137	100	27.7	8.7	14.6	2.2	4.4	11.7	14.6	2.2	13.9
家 族 数											
2 ~ 3 人	808	100	20.9	16.0	23.8	1.8	3.2	7.9	18.9	3.5	4.0
4 ~ 6	2,166	100	20.6	16.4	19.3	1.8	1.7	16.7	18.3	1.8	3.4
7 ~ 9	696	100	25.6	17.7	14.2	2.0	2.6	19.4	13.6	1.9	3.0
10 人以上	58	100	24.1	19.0	13.8	1.7	1.7	22.4	12.1	1.7	9.5
記入なし	6	100	33.3	16.7	-	-	-	33.3	-	-	16.7
住 居 状 況											
とても苦しい	912	100	23.7	22.0	18.0	2.8	1.7	17.7	14.3	1.4	3.4
少し苦しい	1,549	100	21.2	17.0	20.0	1.3	2.1	15.8	17.2	2.0	3.4
普通	1,150	100	20.9	14.9	22.7	1.7	2.3	14.0	20.0	2.9	3.6
きつな方	78	100	19.2	10.3	27.0	2.6	6.4	8.4	20.8	8.8	6.8
楽	7	100	-	14.3	14.3	-	-	14.3	57.1	-	-
記入なし	30	100	27.3	24.2	15.2	-	3.0	9.1	12.1	3.0	6.1

2. 家計の管理について

第 4 表 御主人はあなたに給料をどのようにして渡しますか

項 目	総 数		そのまゝ全部渡す	主人の小遣だけとて渡す	主人が持つていて少しづつ渡す	その他	記入なし
	実 数	%					
総 数	3,734	100	79.1	15.3	3.6	1.8	0.2
年 齢							
19 才以下	9	-	-	-	-	-	-
20 ~ 29	1,082	100	81.2	13.2	3.1	2.2	0.8
30 ~ 39	1,556	100	78.8	16.2	3.6	1.4	0.1
40 ~ 49	828	100	78.6	15.1	4.1	1.8	0.4
50 ~ 59	126	100	67.5	21.4	6.3	4.0	0.8
60 才以上	15	-	-	-	-	-	-
記入なし	118	100	78.0	17.8	2.5	1.7	-
妻の職業別							
家事のみ	2,814	100	79.9	14.9	3.3	1.7	0.2
家事と内職	548	100	77.0	16.4	4.6	2.0	0.7
勤めている	150	100	72.0	16.0	7.3	4.0	0.7
記入なし	222	100	78.4	16.2	3.6	1.4	0.4

(注) 数値の小さいものについては%の計算を省略した。

第 5 表 あなたの家では一カ月の給料の使いみちをあらかじめ決めて使っていますか

項 目	総 数		きめている	きめておかない	記入なし
	実 数	%			
総 数	3,734	100	71.2	27.8	1.0
年 齢					
19 才以下	9	-	-	-	-
20 ~ 29	1,082	100	76.5	22.8	0.7
30 ~ 39	1,556	100	71.7	27.4	0.8
40 ~ 49	828	100	66.2	32.6	1.2
50 ~ 59	126	100	64.3	34.7	1.6
60 才以上	15	-	-	-	-
記入なし	118	100	57.6	37.3	5.1

第 6 表 あなたの家では家計簿をどのようにしていますか

項 目	総 数		項目にわけをつけている	わけないで使つただけつけている	つけない	記入なし
	実 数	%				
総 数	3,734	100	22.9	41.2	34.8	1.4
年 齢						
19 才以下	9	-	-	-	-	-
20 ~ 29	1,082	100	29.3	43.2	26.4	1.1
30 ~ 39	1,556	100	23.0	41.5	34.2	1.3
40 ~ 49	828	100	16.3	39.3	43.5	1.0
50 ~ 59	126	100	14.2	39.7	43.7	2.4
60 才以上	15	-	-	-	-	-
記入なし	118	100	17.8	31.4	45.8	4.0

3. 組織活動について

第 7 表 あなたは御主人の仕事をしてしていますか

項 目	総 数		み づ け 知 っ て い る	あ っ た 方 が い	な い 方 が い	わ か ら な い	記 入 な し
	実 数	%					
総 数	3,734	100	33.7	61.8	4.0	0.5	
年 齢							
19 才 以 下	9	-	-	-	-	-	-
20 ~ 29	1,062	100	30.5	64.9	4.8	0.2	
30 ~ 39	1,556	100	35.3	60.3	4.1	0.3	
40 ~ 49	828	100	35.0	61.4	3.0	0.6	
50 ~ 59	126	100	35.4	60.3	4.0	-	
60 才 以 上	15	-	-	-	-	-	-
配 入 な し	118	100	30.5	56.8	7.6	5.1	

第 8 表 あなたは労働組合をどう思いますか

項 目	総 数		あ っ た 方 が い	な い 方 が い	わ か ら な い	記 入 な し
	実 数	%				
総 数	3,734	100	77.8	1.5	18.6	2.1
年 齢						
19 才 以 下	9	-	-	-	-	-
20 ~ 29	1,082	100	79.4	0.8	18.1	1.7
30 ~ 39	1,556	100	78.6	1.9	17.7	1.8
40 ~ 49	828	100	75.6	1.2	20.8	2.4
50 ~ 59	126	100	73.0	3.2	22.2	1.6
60 才 以 上	15	-	-	-	-	-
配 入 な し	118	100	75.4	1.6	18.3	7.7
業 種						
鉱 業	1,228	100	79.6	0.9	17.7	1.8
運 輸 通 信 業	183	100	80.9	1.0	17.6	0.5
建 築 業	35	100	60.0	6.6	33.4	-
ガ ス ・ 電 気 ・ 水 道 業	53	100	83.0	-	16.2	0.8
機 械 装 具 工 業	564	100	76.8	2.1	19.1	2.0
紡 織 工 業	470	100	82.1	0.4	15.1	2.4
化 学 工 業	656	100	79.4	1.9	16.0	2.7
金 属 工 業	309	100	81.5	1.0	15.9	1.6
食 料 品 工 業	63	100	47.6	8.2	39.7	2.5
其 の 他 の 工 業	174	100	54.6	5.2	38.5	1.7
配 入 な し	4	-	-	-	-	-
組 合 の 有 無						
あ っ た 方 が い	3,450	100	80.8	1.2	16.0	2.0
な い 方 が い	156	100	48.1	7.7	42.3	1.9
わ か ら な い	106	100	29.2	8.7	64.3	2.8
配 入 な し	22	100	54.5	-	27.3	18.2
世 帯 状 況						
と っ ち 苦 し い	917	100	74.9	1.8	20.9	2.5
と っ ち 苦 し い	1,549	100	80.1	1.0	17.5	1.4
と っ ち 苦 し い	1,150	100	77.1	1.7	18.3	2.8
と っ ち 苦 し い	78	100	79.5	1.0	15.4	3.8
と っ ち 苦 し い	7	-	-	-	-	-
配 入 な し	39	100	54.5	3.0	24.2	18.0

第 9 表 御主人と同じ職場の家族の人数で団体（家族団体や主婦会）をつくつていますか

項 目	総 数		つ づ っ て い る	つ づ っ て い な い	わ か ら な い	記 入 な し
	実 数	%				
総 数	3,734	100	30.7	60.5	6.2	2.6
業 種						
鉱 業	1,228	100	39.0	58.2	5.4	2.4
運 輸 通 信 業	183	100	31.1	60.7	7.7	0.5
建 築 業	30	100	3.3	83.4	10.0	3.3
ガ ス ・ 電 気 ・ 水 道 業	53	100	24.5	67.9	3.8	3.0
機 械 装 具 工 業	564	100	24.0	67.0	6.2	2.8
紡 織 工 業	470	100	28.5	59.8	7.2	4.5
化 学 工 業	656	100	33.5	58.4	5.6	2.5
金 属 工 業	309	100	25.6	69.9	3.6	0.9
食 料 品 工 業	63	100	14.3	68.5	15.9	6.3
其 の 他 の 工 業	174	100	9.8	77.6	10.9	1.7
配 入 な し	4	100	50.0	50.0	-	-

第 10 表 あなたは家族団体や主婦会についてどう思いますか

項 目	総 数		あ っ た 方 が い	な い 方 が い	わ か ら な い	記 入 な し
	実 数	%				
総 数	3,734	100	71.5	11.4	12.9	4.5
族 族 団 体 の 有 無						
つ づ っ て い る	1,146	100	90.2	5.2	3.1	1.5
つ づ っ て い な い	2,260	100	60.6	16.3	15.3	8.8
わ か ら な い	232	100	57.8	6.5	32.3	3.4
配 入 な し	96	100	66.7	5.2	9.4	18.7

調査票

姓 名	
会 員 号	
対 象 者 号	

労働者家族についての調査

労働省 婦人少年局 1961. 11

みなさんへお願い

婦人少年局では、働く人達の家族の生活を高めるために、いろいろの調査や研究をしています。この調査はその中の一つとして行うことになりましたので、大変御面倒ですが、ありのままを御記入下さるようお願いいたします。

①御記入の時は、

問の内容と（ ）の中をよくお読みになった上で、あなたの考えがあらはまるところに○をつけて下さい。

1. 御主人はあなたに給料をどのようにして渡しますか。

- イ、そのまゝ全部渡す
ロ、主人の小遣だけとって渡す
ハ、主人が持っていて少しずつ渡す
ニ、その他

2. あなたの家では1カ月の給料の使いみちをあらかじめ決めて使っていますか。

- イ、きめている
ロ、きめておかない

3. あなたの家では家計簿をどのようにしていますか。

- イ、項目もけて（食費、衣服費、住居費、その他）つけている
ロ、わけないでつかっただけつけている
ハ、つけていない

4. あなたの家の生活はどの程度でしょうか。

- イ、とても苦しい
ロ、少し苦しい
ハ、普通
ニ、まあ楽な方
ホ、楽

5. あなたは生活が苦しい時はどうしたら一番よいと思いますか。

(一つだけ○をつけて下さい。)

- イ、金がとめる
ロ、内職をする
ハ、持物がある
ニ、借金をする
ホ、家族を働かせる
ヘ、間貸しをする
ロ、身内や者に金をたのむ
ニ、生活保護を受ける
ハ、その他

6. あなたは御主人のしごとを知っていますか。

- イ、よく知っている
ロ、話をきいて知っている
ハ、知らない

7. 御主人の職場には労働組合がありますか。

- イ、ある
ロ、ない
ハ、わからない

8. あなたは労働組合をどう思いますか。

(あなたの考えている所に○をつけそのわけを簡単に書いてください。)

- (1) あつた方がよい
そのわけ
(2) ない方がよい
そのわけ
(3) わからない

9. 御主人と同じ職場の人達の家族で団体（家族組合や生協会のようなもの）をつくっていますか。

- イ、つくっている
ロ、つくっていない
ハ、わからない

10. あなたは上の団体（9の団体）についてどう思いますか。

(一番大事だと思ふ理由に一つだけ○をつけて下さい。)

- (1) あつた方がよい
そのわけ
(2) ない方がよい
そのわけ
イ、みんなと仲よくなれるから
ロ、いろいろおねがいから
ハ、お互に助けあえるから
ニ、会社と話しあふのに都合がよい
ホ、何の役に立たないから
ロ、主人の労働組合に協力できるから
ハ、何かと利用しやすいから
ニ、その他
(3) わからない

11. あなたは1日中でどのような時間が一番ほしいと思いますか。

(一つだけ○をつけて下さい。)

- イ、家事に費す時間（衣食住）
ロ、内職する時間
ハ、新聞や本を読む時間
ニ、暇な時間
ホ、芝居や映画などを見る時間
ヘ、子供の相手をする時間
ロ、ためになる会合（講演会、講習会など）に出る時間
ハ、その他

(該当するところに○を、あてられているところに必要な事項を書き入れて下さい。)

1. 年 齢 清	才	2. 結婚年数 清	年	3. あなたの職業	家事のみ	家事と内職	勤めている		
4. 学 歴	中途退学の方は前の 学歴に○をつけて下さい	なし	小 卒	高小卒	女 卒	新制高卒	新制大卒		
5. 家族数	人	家族内訳	夫	妻	子供	人	夫の父母	妻の父母	その他
6. 夫の祖先の名まえ				7. 夫のしごと	現 業	農 業	技 術	事務系	その他
8. 夫の祖先の総人数	10人以下	50人以下	100 人以下	500 人以下	1000 人以下	それ以上	わからない		

昭和27年9月5日印刷
昭和27年9月7日発行

労働者の主婦の意見調査

東京都千代田区大手町1丁目7番地

編集人 労働省婦人少年局

東京都中央区入船町2丁目3番地

印刷所 永井印刷工業株式会社

